

平成31年度 福島区運営方針(案)

(区長:大谷 常一)

◆計画

区・局の目標（何をめざすのか）

平成33年度を目標に、人と人とがつながり支え合うことにより、福島区がお子さんからお年寄りまで誰にとってもこれからも住み続けたいまちになることをめざす。

区・局の使命（どのような役割を担うのか）

次の4つをめざすべき姿として重点的に取り組む。

1 人と人とがつながり支え合うまちづくり 2 次世代を元気に育むまちづくり 3 にぎわいと魅力あふれるまちづくり 4 区民が満足・納得できる区役所づくり

平成31年度 区・局運営の基本的な考え方（区・局長の方針）

福島区は、近年大型マンションが増加し、それに伴い人口増加が顕著である。特に若年層の流入が激しく、その一方で古くから長く住み続けている方も多いため、価値観や行政に対するニーズが多様化している現状がある。しかし、大災害が発生した際には世代等を超えてお互いに協力して助け合う必要がある。福島区では身近な地域でのつながりや世代間のつながりをはじめ、あらゆる場面でつながりというものをキーワードに区民と区役所がつながり、福島区がお子さんからお年寄りまでこれからも住み続けたいまちとなるよう取り組む。

重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題1 人と人とがつながり支え合うまちづくり】 福祉や防災といった身近な課題に気付き日常から顔見知りになりつながることの大切さを感じてもらえるような事業を展開する。	・地域力の強化による防災、減災、安全対策の推進 ・「福島区地域福祉ビジョン」の取り組み ・地域活動協議会等の自律的な活動の促進
主な具体的取組（31年度予算額）	
・自主防災組織の防災活動・訓練への支援(2,242千円) ・地域の福祉活動サポート事業(14,893千円) ・活動の活性化に向けた支援(34,847千円)	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題2 次世代を元気に育むまちづくり】 子育て世代が安心して楽しく子育てができるまちをめざす。 保護者・区民等の声をくみ取りながら施策を実施する分権型教育行政を進める。	・妊娠前から就学前の子どもを持つ親に対しての子育て支援 ・「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進
主な具体的取組（31年度予算額）	
・子育て支援事業の充実(640千円) ・小、中学校の児童、生徒の体力向上事業(882千円)	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題3 にぎわいと魅力あふれるまちづくり】 地域の独自性を軸に、住民、企業等と連携協力して、集客力の高いイベントを実施し、活気とにぎわいがあふれるとともに、うるおいとみどりのある美しいまちを実現する。	・にぎわいと魅力あふれるまちづくり ・花とみどりのまちづくり
主な具体的取組（31年度予算額）	
・福島区のにぎわいづくりのための事業(23,311千円) ・花とみどりのまちづくり事業(746千円)	

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題4 区民が満足・納得できる区役所づくり】 区政運営において、これまで以上に区民が参画しているという実感が得られるような施策を展開する。 区役所が区民をはじめ来庁者にとって快適で満足できる場所となるよう取り組む。	・区民が区政運営に参加・参画する仕組みの更なる充実 ・区民サービスの向上と効率的な区行政の運営
主な具体的取組（31年度予算額）	
・区政会議の効果的な運営(400千円) ・庁舎案内や窓口サービスにおけるサービス向上(173千円)	

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
経常経費の削減	・照明の点灯箇所の減、室温管理など
主な取組項目	取組内容
歳入の確保(広告事業等)	・区庁舎を活用した広告事業 ・ネーミングライツ事業の募集
主な取組項目	取組内容
歳入の確保(国民健康保険料収納率の向上)	・資格の適正化のため社保加入調査や不現住調査を強化 ・口座振替納付の加入勧奨を図る。 ・新規滞納者に対する早期収納対策の実施

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

解決すべき課題と今後の改善方向